

編集後記

今年度も、予想されていたとはいえコロナで始まりコロナで終わった年となってしまった。その中、双方向のオンライン講義も実施し、ICTを活用した教育にベクトルを合わせることができた、ともいえる年となった。

一方、mRNAなど革新的ワクチンが供給されるようになり、飲み薬も承認された。日本人特有の要因「ファクターX」があるのではないかと指摘されていたが、特定の白血球型「HLA-A24」がファクターXの1つである可能性がわかってきた。「HIV」にも感染しない遺伝子を持つ人々も確認されている。人類は誰かが生き延びる術を持っているということだろう。

結局、人類滅亡は、太陽の寿命によるものか、未知の彗星が衝突するか、はたまた愚かにも自らの手で核の引き金を引いてしまうのか…21世紀になっても、旧東西紛争の危機が絶えない地球の未来はどうなる？と妄想は膨らむばかりなのだが、身近に目を向ければ、本当にクルマがすべてEVになる？なるなら電力はどうする？やっぱり原発は必要なのか？もろもろ疑問も湧いてくる。

このような中、我々は今できることをやっておくしかない、ということになる。近く、自動車整備士資格の中身も大きく見直され、ガソリンもジーゼルも同じ内燃機関としてひとつに括られる。かつ、モータ・バッテリーといった新分野も修めなくてはならなくなる。

寒冷期から温暖期に移行する途中だから温かくなって当然とも思うが、温暖化ガスがそれを加速させていることは確かである。

カーボン・ニュートラルやSDGsという言葉に表されるような時代になった以上、それを理解し、受け入れ、変わっていかなければならない。

そんな環境の中で、教育に携わる先生方には、専門分野に関わる研究・考察、SDGsにともなう考察、コロナ禍でのオンライン授業の効果に対する考察など4編を寄稿していただき、論叢に掲載できましたこと、心より感謝いたします。ありがとうございました。

(文責：森本一彦)

論叢委員

森本一彦・加藤泰世・岩田有正・長谷川達也

及川浩和・清水勝昭・寺尾裕二

2022年3月7日発行

編集 中日本自動車短期大学論叢委員会

発行 中日本自動車短期大学

岐阜県加茂郡坂祝町深萱1301 〒505-0077
電話 (0574)26-7121 代表

印刷 西濃印刷株式会社
岐阜市七軒町15 〒500-8074
電話 (058)263-4101 代表

